

経過措置終了に関するFAQ（よくある質問と回答）

株式会社東京証券取引所

Q1. 経過措置が適用されている会社においては、2025年3月1日以後最初に到来する基準日から本来の上場維持基準が適用されるとありますが、最初に到来する基準日とはいつですか。

A. 「流通株式時価総額」、「流通株式比率」等及びグロース市場における「時価総額」の基準に関しては、各上場会社の事業年度の末日が基準日となりますので、例えば、3月末日を事業年度の末日とする会社は2025年3月31日、6月末日を事業年度の末日とする会社は2025年6月30日が最初に到来する基準日となり、当該日における判定から、本来の上場維持基準が適用されます。

なお、プライム市場における「売買代金」の基準については、事業年度の末日に関わらず、2025年12月末日が最初に到来する基準日となります。

Q2. 上場維持基準に適合できず、改善期間に該当したとわかるのはいつ頃になりますか。

A. 「流通株式時価総額」、「流通株式比率」等の基準に関しては、週次で[改善期間一覧](#)に掲載します。なお、それらの基準への適合状況は、各上場会社から提出される「株券等の分布状況表」に基づいて審査を行うため、同日を事業年度の末日とする会社であっても、各会社の提出時期によって、一覧に掲載される時期は異なります。例えば、3月末日を事業年度の末日とする会社の場合、4月中旬～6月中旬頃に順次掲載されることとなります。

グロース市場における「時価総額」の基準に関しては、毎月中旬に前月を事業年度の末日とする会社の該当状況について、[改善期間一覧](#)に掲載します。

プライム市場における「売買代金」の基準に関しては、毎年1月第5営業日頃に[改善期間一覧](#)に掲載します。

Q3. プライム市場の上場維持基準に適合できなかった場合は、スタンダード市場に自動的に移行されるのですか。

A. プライム市場の上場維持基準に適合できなかった場合に、自動的にスタンダード市場に移行するという制度はありません。上場会社がスタンダード市場への市場区分の変更審査を受け、審査基準に適合した場合に限り、市場区分の変更を行います。

Q4. 保有する銘柄が、改善期間内に上場維持基準に適合できず、東証を上場廃止となった場合、当該銘柄の株式の売買を行うことはできますか。

A. 相対による売買（売買を希望する相手を探し当事者間で直接取引を行うこと）を行うことは可能

ですが、取引所（東証）を介した売買は行えなくなることから、流動性が大きく低下し、株主が希望するタイミング・価格で売買を行いにくくなることが想定されます。

なお、他の取引所に重複上場している銘柄に関しては、当該取引所における上場が継続される限り、当該取引所において継続して売買を行うことができます。

以 上